

輸送経済

6/23

THE YUSO-KEIZAI

第2850号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

冷食共同物流を推進

ロジプラン 四国に続き中国地方で

一年以降、北海道や九州などで共同での集荷・配送に取り組んでいる。

ただ地方での取り組みは少ない物量を補い積載効率を高めるのが目的。効果には限界があった。

より一層の効率化を図るため、ロジプランの管理・運営の下、平成十九年三月に四国での共同保管・配送を開始。

ロジプランは、三社の物流の実態をオープンにした上で最適な物流プランを提案、継続的な物流改善を行っている。

ニチレイロジグループのロジステイクス・プランナー(本社・東京、大平潤一社長)が企画・運営する冷凍食品の共同物流が十五日、四国に続き、中国地方でも始まった。さらなる効率化で、CO₂や物流費の削減を進める。

素冷凍食品、日本水産の冷食メーカー三社の共同保管・配送を、広島、山口、島根の三県に拡大。各社で行っていた商品の保管、トラックの手配、共通の取引先への配送を一括して管理・運営。保管拠点は、従来の大阪の拠点からニチレイ・ロジステイクス中国広島

物流センターに移動。三社の物流子会社を使い、共同で保管した食品を食品卸や量販店などへまとめて配送する。センターの運営はニチレイ・ロジで行う。

中四国での共同物流により、CO₂の一四%削減を見込む。メーカー三社は平成十